

海水核種分析結果 < 沿岸 福島第一原子力発電所 >

参考値

(データ集約 : 2/12)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に約30m地点)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に約1.3km地点)		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時	2016年2月11日 8時30分		2016年2月11日 6時15分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND(0.62)	-	ND(0.67)	-	40
Cs-134 (約2年)	ND(0.77)	-	ND(0.67)	-	60
Cs-137 (約30年)	ND(0.58)	-	ND(0.57)	-	90

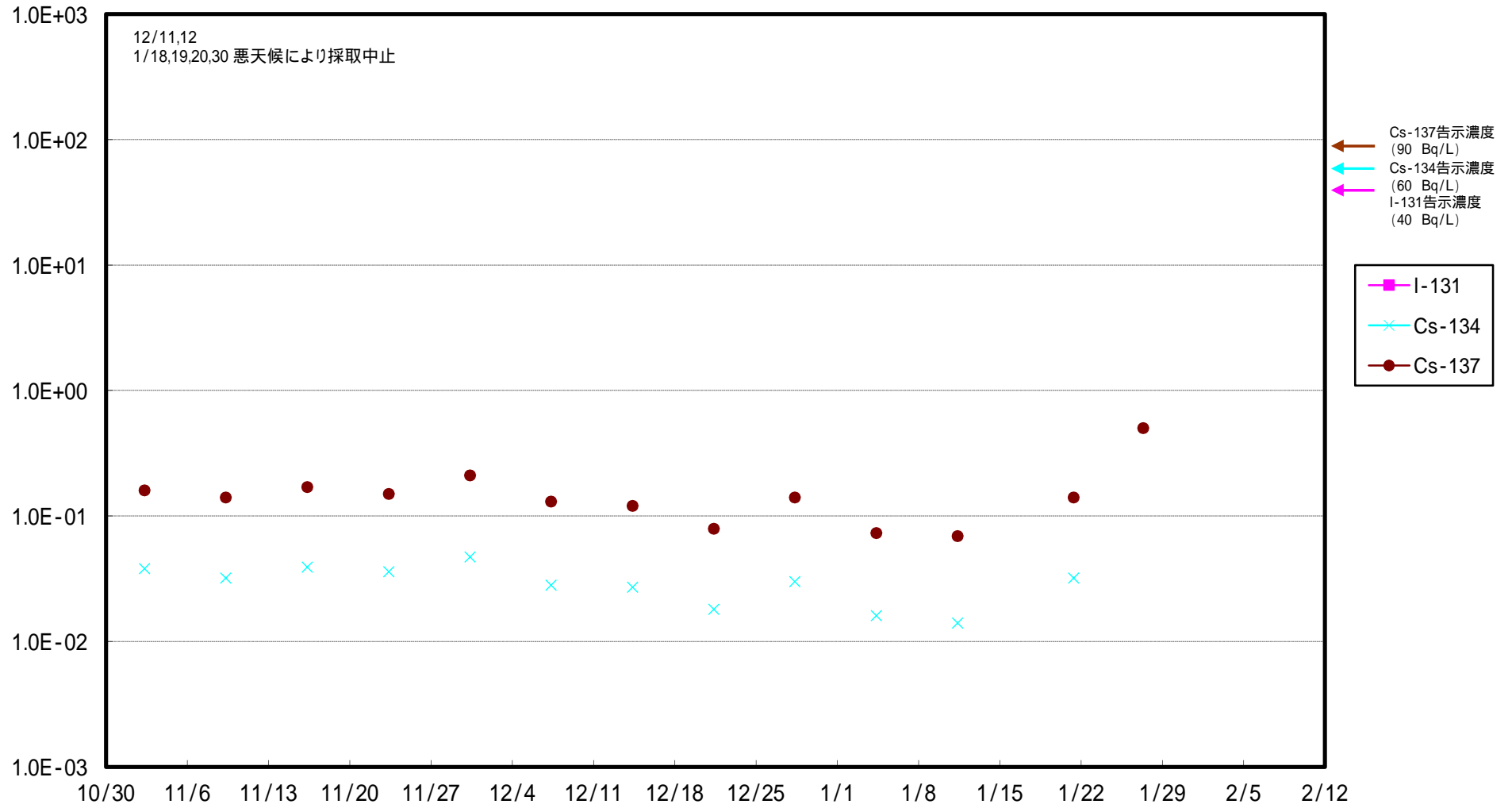
炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

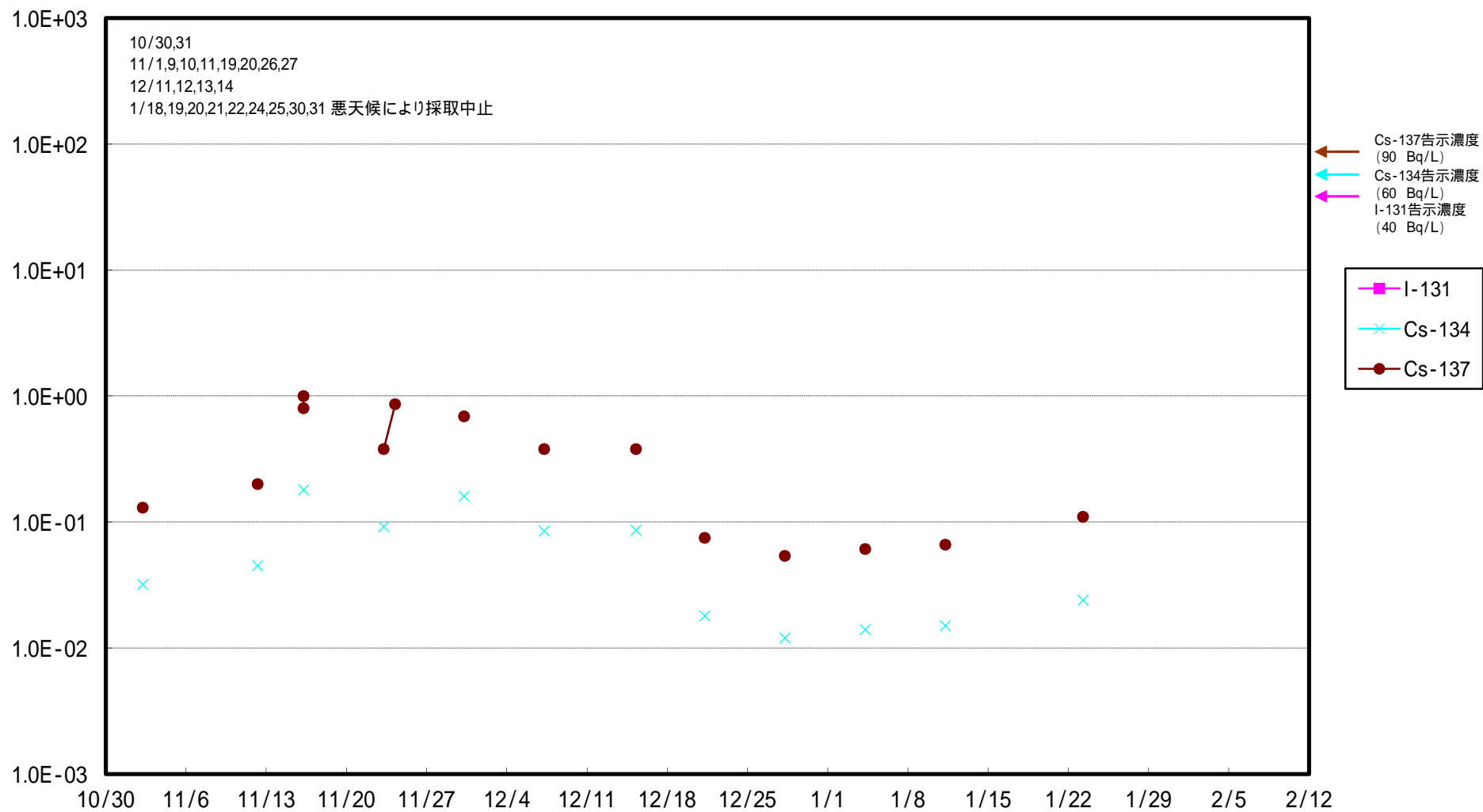
二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

福島第一 5,6号機放水口北側 海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第一 南放水口付近 海水放射能濃度 (Bq / L)



海水核種分析結果

(データ集約: 2/12)

採取場所 (地点番号)	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に 約30m地点)(T-1)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に 約1.3Km地点)(T-2-1)		/		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	2016年1月4日		2016年1月4日		/		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND(0.62)	-	ND(0.59)	-	/	/	40
Cs-134 (約2年)	ND(0.55)	-	ND(0.73)	-	/	/	60
Cs-137 (約30年)	ND(0.73)	-	ND(0.72)	-	/	/	90
H-3 (約12年)	ND(1.4)	-	ND(1.4)	-	/	/	60,000
全	ND(1.5)	-	ND(1.5)	-	/	/	-
全	10	-	13	-	/	/	-
Sr-90 (約29年)	ND(0.0076)	-	ND(0.0076)	-	/	/	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値
 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
 I-131, Cs-134, Cs-137, 全 については、2016年1月5日公表。H-3については、2016年1月8日公表。
 NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。
 Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

(評価)

全 放射能が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。

福島第一 1～4号機取水口内 海水核種分析結果

(データ集約：2/12)

採取場所	福島第一 1～4号機 取水口内北側海水(東波除堤北側)		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	2016年1月4日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND(2.1)	-	40
Cs-134 (約2年)	ND(2.3)	-	60
Cs-137 (約30年)	ND(2.2)	-	90
H-3 (約12年)	33	0.00	60,000
全	ND(2.0)	-	-
全	ND(17)	-	-
Sr-90 (約29年)	ND(0.23)	-	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137, 全 については、2016年1月5日公表、H-3については、2016年1月8日公表。

NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

(評価)

H-3が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、H-3の濃度は、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。